

東京大学大学院農学生命科学研究科  
 附属演習林 特任専門員（リサーチアドミニストレーター、URA）公募

1	職名及び人数	特任専門員（特定有期）URA	1 名
2	採用予定日	令和6年4月1日（予定）	
3	任期	令和7年3月31日まで 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和11年3月31日までを限度として更新する場合があります	
4	勤務地	東京都文京区弥生 1-1-1 弥生キャンパス	
5	所属	大学院農学生命科学研究科 附属演習林 フォレストGX/DX協創センター	
6	業務内容	フォレストGX/DX協創センター所属の高度専門職員として、本部・部局間連携および国際連携によるGX/DX研究プロジェクトの企画立案・進捗管理の支援、またこれにかかわるリサーチアドミニストレーター（URA）業務を執行する。	
7	就業時間	標準的な就業日・時間は週5日（月曜日～金曜日）8:30～17:00（12:00～12:45休憩）。ただし、管理職相当のため始業・終業の時刻、休憩時間等の就業上の規定は適用されない。	
8	休日・休暇	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は原則休日。ただし、管理職相当のため休日等の就業上の規定は適用されない。 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等	
9	給与□	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め、 月額 400,000 円～	600,000 円
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）	
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）	
	応募資格□	1) 大学院修士課程修了相当以上（博士号を持つことが望ましい。） 2) 官公庁、民間企業、国公立研究所、国公立研究開発法人、大学等において、プロジェクトの管理運営業務に携わった経験を有し、高い事務能力を有すること 3) 本部・部局間連携および国際連携を進める上で必要なGX/DXに関する造詣と広範な知識、高い協調性を有し、プロジェクト運営に的確な助言等を積極的に行えること 4) データベースやシステム等に関する知見、国際連携に対応可能な語学力を有することが望ましい	
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/ia/about/jobs/r01.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/ia/about/jobs/r01.html</a> 2) 職務経歴書（A4版、様式不問） 3) 応募資格(2)～(4)に関連する業績（A4版、様式不問） 4) 森林GX/DXについての考え（A4版、1,000字程度）	
14	応募締切	令和6年1月10日（水）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。	
15	書類送付先 及び 問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 企画部 蔵治光一郎 TEL: 03-5841-8640 E-mail: kuraji_koichiro[at]uf.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 封筒に「URA 応募書類在中」と朱書き、記録が残る方法で送付のこと。	
16	特記事項	1) 予算の都合上、今後、事業内容や実施時期等に変更がありうることをご承知おきください。 2) 試用期間あり（採用日から14日間） 3) 附属演習林に関する概要は、下記ホームページを参照のこと <a href="http://www.uf.u-tokyo.ac.jp">http://www.uf.u-tokyo.ac.jp</a>	
17	募集者名称	国立大学法人東京大学	
18	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり） 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。	

# フォレストGX/DX協創センターの設置（予定）

## フォレストGX/DX協創：東大の森からの社会変革

国土の3分の2を占める森林を資源とし、大規模・高精度の森林データの活用など、**産学協創**や**地域社会との協創**によって**森林へのグリーン投資**を呼び込むプラットフォームを形成し、**脱炭素社会の実現**に向けた**東大モデル**をつくる。5年後に**アジアのフィールド拠点**の形成を目指す。

### 想定される本部・他部局との連携

本部GX推進課

工学系研究科

生産技術研究所

未来ビジョン  
研究センター

情報基盤センター

空間情報科学  
研究センター

医学系研究科

新領域創成  
科学研究科

東大演習林：全国7ヶ所、国土の1000分の1

### フォレストGX/DX協創センター（令和6年～）

- ・センター長：附属演習林長
- ・副センター長：特任教授または特任准教授〔新規・女性限定〕ほか
- ・特任助教〔新規〕 ・専任教員
- ・高度専門職人材〔新規〕

センターの機能 産学協創/社会協創/本部・部局間連携による  
森林へのグリーン投資のプラットフォーム（東大モデル）

#### Nature-based Solutions（自然を活用した解決策）

- ①大規模・高精度の森林データ整備
- ②森林炭素吸収量の精緻化
- ③炭素蓄積の技術開発
- ④フォレストGX/DXの人材育成
- ⑤カーボンニュートラル地域画の策定支援

### 産学協創

民間企業との  
協定、共同研究

産学協創推進本  
部との連携

### 社会協創

自治体の脱炭素  
実現に向けた実  
施計画策定支援  
（協定の締結）

### フォレストDXの推進（令和3年～）

フィールドデータ研究センター（令和3年4月設置）

- ・100年を超える長期森林データの整備・公開
- ・アジアの拠点大学（7ヶ国）との長期森林観測の連携

附属演習林では、生物多様性に配慮した持続可能な先進的  
林業を実践

# フォレストGX/DX協創センター（予定）の機能

## フォレストGX：脱炭素社会の実現

森林へのグリーン  
投資のプラット  
フォームを形成

③ 土壌炭素蓄積も  
考慮した森林管理

② 炭素吸収量推定の  
精緻化・見える化

Nature-based  
solutions

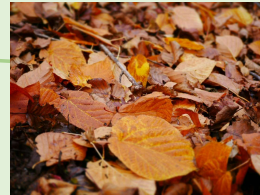
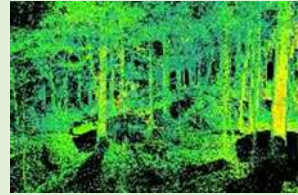
④ GX/DXの  
人材育成

脱炭素社会の  
実現に向けた  
東大モデル

① 大規模・高精度の  
森林データ整備

⑤ 企業や地域  
との連携

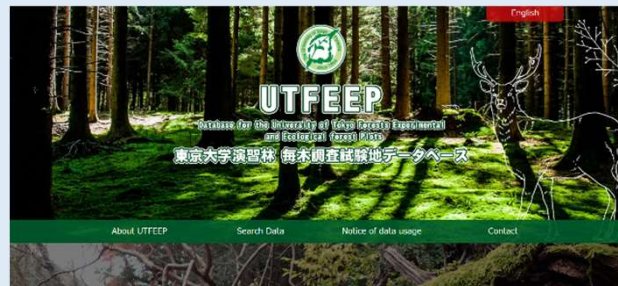
演習林  
フィールド



## フォレストDX：森林情報の基盤整備



7ヶ所の多様な地方演習林で  
持続可能な先進林業の実践



100年以上にわたる森林観測の  
データベースによる整備・公開



アジア7ヶ国の拠点大学と  
長期森林観測の連携